

5.1 新聞資料の特徴

最近話題の出来事や、過去の世相などを探索する場合、新聞は有効な情報源となります。たとえば、ある事実が起こったかどうかという事実確認や、ある人物に関係した情報を集める場合などに活用することができます。あるテーマに関する情報を広く集め、そこから新たな問題提起をする場合にも活用可能です。新聞は、過去から現在にかけての多様な社会情報を日々記録しているメディアなのです。

新聞の特徴の1つとして、速報性があります。これは、早く出来事を伝えるという効力があるのと同時に、事実関係の裏付けが正確ではない場合もありうることを意味します。よって、事実調査に新聞を活用するときは、複数の新聞記事で情報を確認し、事実が起きた数日後の紙面も参照する必要があります。また、新聞以外のメディアによる記事も併せて調査してください。可能なかぎり多様な角度から調べ、情報を検証することが大切です。

また、新聞を発行している新聞社には、それぞれ個性があります。マスコミュニケーション・メディアである新聞は、公共的情報供給者としての面から、記事内容は中立性を保っているように思われがちです。しかし、新聞社あるいは記者によって、問題への取り組み姿勢、記事のまとめ方・見解などの相違により、記事の内容が異なります。複数の新聞を読み比べることで、多様な見方を知ることができます。



5.1.1 新聞の種類

新聞をイメージしてすぐに思いつくのは、報道記事を掲載し毎日刊行される一般紙だと思います。しかし、新聞にはほかにもさまざまな発行形態や内容、収録メディアのものがあり、それぞれに特徴があります。新聞記事を探そうとする場合は、まずその新聞メディアの特徴を知っておくことが大切です。

(1) 発行形態による区分

日本全国に販売拠点を持つ全国紙と、特定地域で販売される地方紙の、2種類の発行形態があります。ただし、地域に密着した記事内容を探索する場合であっても、地方紙だけではなく全国紙の地方面も有用な情報となる場合があります。

- 全国紙 : 朝日新聞、毎日新聞、読売新聞、産経新聞、日本経済新聞など
- 地方紙 : 河北新報、北海道新聞 など







(2) 内容による区分

全分野の内容を偏りなく掲載している一般紙と、それぞれの分野に特化した紙面で構成している専門紙の、2種類の内容に分けられます。

- 一般紙 : 朝日新聞、毎日新聞、読売新聞、河北新報 など
- 専門紙 : 日本経済新聞、日刊工業新聞 など

(3) 収録メディアによる区分

新聞本紙は紙質が悪いため保存に向いておらず、また、記事検索用の索引もありません。そのため新聞は、さまざまなメディアに変換して提供されています。

メディアの種類	特徴
本紙（原紙） 	速報性が優先。メディアの保存や記事検索ともに不向き。
冊子体（縮刷版） 	本紙を縮小して月単位で印刷した保存用の冊子体。記事索引がついているものもある。
マイクロフィルム 	本紙を縮小撮影したもの。保存によいが、閲覧には専用機器が必要。検索にはほかのツールが必要。
CD・DVD 	記事検索に優れる。ただし、写真や広告など本紙全面は収録していないことが多い。
オンラインデータベース 	複数年や複数紙の同時記事検索が可能なものもある。本文等閲覧が制限されることもある。
無料ウェブサイト 	もっとも速報性が高いが、本紙紙面とは別記事である。過去の記事を参照できない場合も多い。

図表 5-1 メディアの特徴

5.1.2 記事内容の種類

新聞は、毎日の報道記事のほかにも、社説、地方面、文化欄、相場欄、コラム、インタビュー、漫画、広告などさまざまな内容を掲載しています。しかし、本紙以外のメディアでは、それらを収録していない場合もあります。それぞれのメディアを利用する際には、説明書や凡例をよく読んで確認してください。

5.1.3 目的による使い分け

新聞を利用しようとする際は、その利用目的に応じて、これまで述べた種類のものを使い分けることが大切です。

目的例	利用ツール例
今月の最新記事を探す	本紙、オンラインデータベースなどを利用。最近の記事の確認には、無料ウェブサイトの検索も有用。
戦前の古い記事を探す	大きな事件は、複数誌の記事で編集されている冊子体が便利。検索できなかった時はデータベースを利用。
図表や写真などを探す	オンラインデータベースなどで日付を特定し、本紙、縮刷版、マイクロフィルムなどを利用。CD・DVDでは未収録が多い。
地方関係の記事を探す	地方紙やマイクロフィルムを利用。全国紙は本紙以外のメディアでは地方面を収録していない場合もあり注意が必要。
複数新聞の最近の記事を探す	横断検索できるオンラインデータベースを利用。

図表 5-2 目的別利用ツール

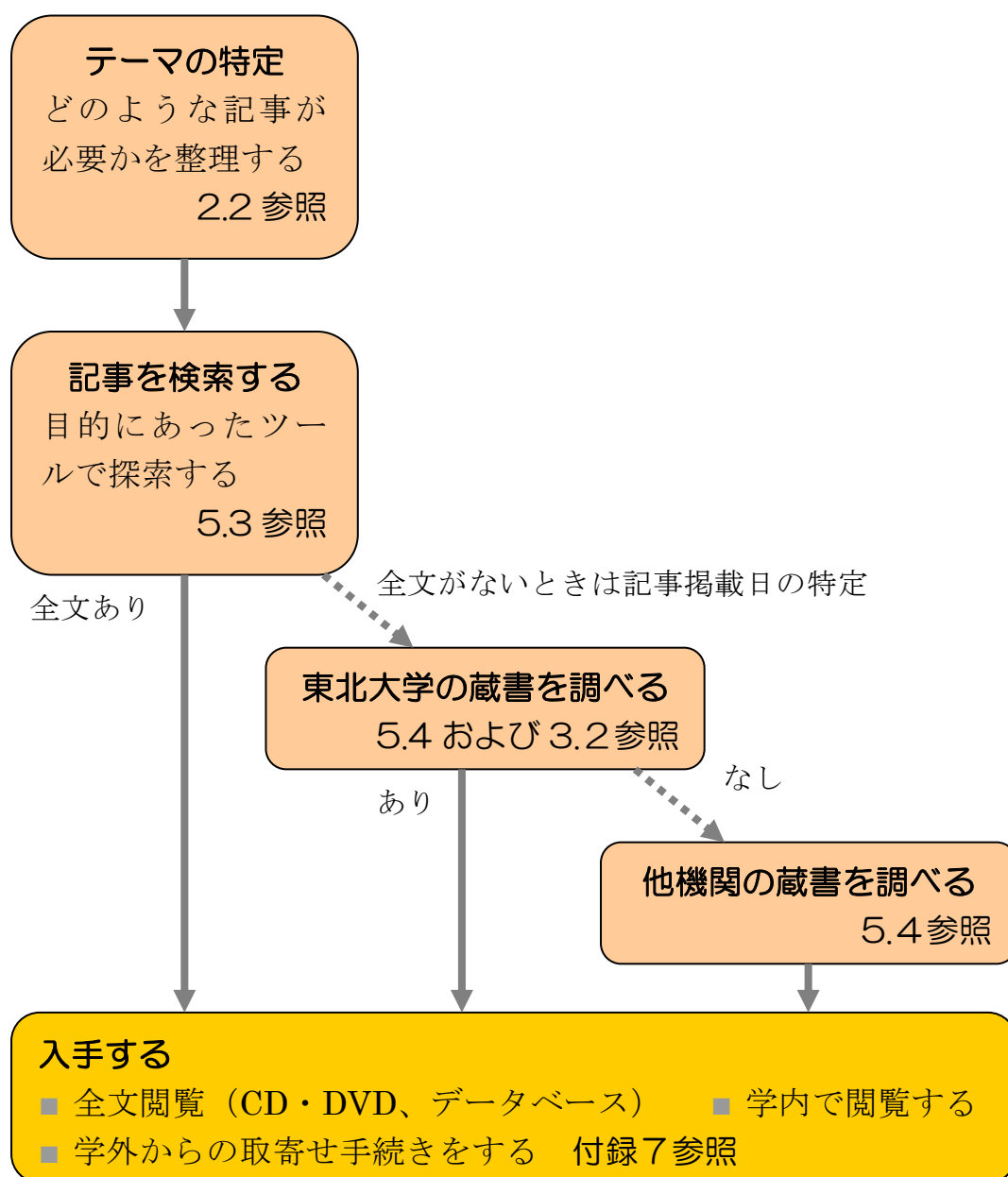


まめちしき 最終版とは？

毎日大量に発行され、全国各地に配達される全国紙は、印刷途中で記事の差し替えが起こることがあります。そのため、同一出版日でも地域により記事内容が異なる場合があります（新聞本紙の上部に、第何版かが表示されています）。検索ツールの収録記事は、原則として最終版を基にしています。

5.2 新聞記事入手までの手順

新聞記事を入手するにはまず、記事が掲載された紙名と日付を特定する必要があります。それから所蔵を調査し、利用の手続きをします。ただし CD・DVD やデータベースなど、検索結果からそのまま全文を閲覧できるツールもありますので、入手手順は一樣ではないことに注意してください。また、本紙についてはオンライン目録で検索できない場合もありますので、カウンターでお尋ねください。以下は、基本的な入手手順です。



図表 5-3 新聞記事入手の基本的な手順

5.3 大学内から利用できる主な新聞記事探索ツール

ここでは本学で利用できる探索ツールとして、オンラインデータベース、CD・DVD、無料ウェブサイト、冊子体それぞれについて、主なものを紹介していきます。

図表 5-4 のように、年代によって利用できるツールが異なりますので、どの年代を調べたいのか、よく検討してから利用しましょう。

オンラインデータベースは、一部の新聞でのみ提供されています。1つの事件について、一誌を検索して終わらせることなく、データベースで得た日付等を手がかりに、他誌の縮刷版、マイクロフィルムなどを検索してください。

1945年以前の新聞記事を探したいときには、単独誌のデータベースよりも、複数の新聞記事で編集されている冊子体ツールのほうが報道の全体像を捕らえやすくなっています。冊子体で検索できなければ、データベースの全文検索を利用する、というように効率よく検索する工夫をしましょう。

新聞社等の新聞記事を検索できるウェブサイトを利用する場合は、検索対象がウェブ版の記事なのか、あるいは本紙印刷版の記事なのかを確認してください。これらは別内容のものであるので、区別して利用する必要があります。もしウェブサイトで探し出した記事の本紙で閲覧したいときは、掲載日付を確認しましょう。














まめちしき 新聞の速報性

従来、ある出来事がおきた場合、その情報をいち早く、広く報道するメディアは、テレビかラジオでした。そして、出来事の情報印刷物として記録し、出版するのが新聞です。一般的に情報は、時間の流れとともに、「新聞」→「雑誌」→「図書」の順番で印刷物として記録され、後世に参照できる形式で保存されてきたといえます。

しかしこのような慣習も、ウェブの普及と情報環境の変化により、現在では変貌しつつあります。事件などの情報は、新聞よりも、場合によってはテレビやラジオよりも早くウェブサイトが報道しています。そしてその情報は後日も検索可能なおえ、新聞のような休刊日もありません。

情報環境が変わりつつある現在、情報を利用する側は、その目的や状況に応じてメディアを使い分けていく柔軟性が必要となっています。

	明治	大正	昭和（戦前）	昭和（戦後）	平成	当月	当日
複数誌	 明治 ニュース 事典	大正 ニュース事 典	昭和 ニュース事典 (-1945)				
	 新聞集成 明治編年史	新聞集録 大正史	新聞集成 昭和編年史(-1957)				
						 新 s (2週間前-)	
朝日	 朝日新聞記事総覧 (1911-1992)						
	聞蔵Ⅱ(1879-) 						
読売	 明治の 読売新聞	大正の 読売新聞	昭和の読売新聞 (-1970)				
	ヨミダス歴史館(1874-) 						
日経					 日経全文記事 データベース (1990-前年)		
		 日経テレコン 21(1876-1958)				 日経テレコン 21(1981-)	
河北					 KD 河北新報データ ベース (1991-前日)		

図表 5-4 新聞記事の主な検索ツールと利用年代



5.3.1 複数紙の新聞記事を調べる

1945 年以前の新聞記事を、複数紙まとめて調べたいときには、以下の冊子体のツールが便利です。

- 『明治ニュース事典』 1868～1912 明治ニュース事典編纂委員会，毎日コミュニケーションズ出版部編集制作：本館 RC
当時の主な新聞などから記事を採録したものです。事項別、分類別、年次別の索引があります。同様に『大正ニュース事典』、『昭和ニュース事典』も所蔵しています。
- 『新聞集成明治編年史』 1862～1912 中山泰昌編著；新聞集成明治編年史編纂會編纂：本館書庫 [I11A3-11/メ 1]
当時の主要な新聞記事を集めた集成版です。同様な資料として、加藤秀俊ほか編の『新聞集録大正史』や、平野清介編『新聞集成昭和編年史』入江徳郎ほか編の『新聞集成昭和史の証言』なども、本館で所蔵しています。

最近の新聞記事を複数紙まとめて調べたいときには、以下のウェブサイトで検索することができます。

- 『新 s (あらたにす)』 <<http://allatanys.jp/>>
朝日新聞、日本経済新聞、読売新聞の 3 紙の一面や社会面などを、過去 2 週間まで、同時に一覧できます。(社説、コラムは一週間)

もし、調べたい新聞記事がごく最近のものである場合は、サーチエンジン (ポータルサイト) のニュースページも便利です。そこでは、多くの新聞社や通信社のウェブ配信記事をカテゴリーごとに通覧できます。

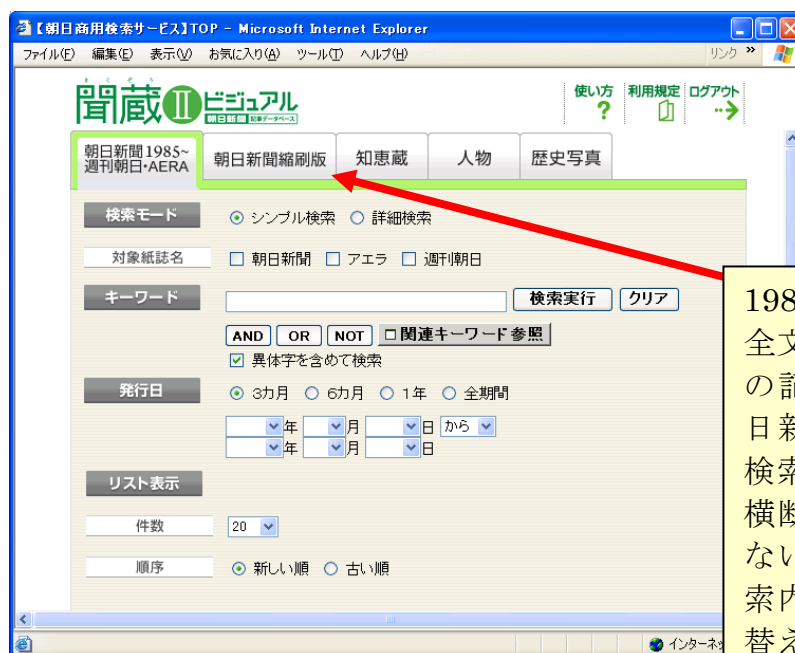
- 『Yahoo! JAPAN ニュース』 <<http://headlines.yahoo.co.jp/>>
- 『goo ニュース』 <<http://news.goo.ne.jp/>>
- 『excite ニュース』 <<http://www.excite.co.jp/News/>>
- 『Google ニュース 日本版』 <<http://news.google.com/news?ned=jp>>

5.3.2 新聞社別に新聞記事を調べる

(1) 朝日新聞社

- 『聞蔵(きくぞう)Ⅱ ビジュアル for Libraries』 朝日新聞社
 <<http://tul.library.tohoku.ac.jp/modules/newdb/detail.php?id=36>>
 学内限定

朝日新聞のオンライン記事データベースです。1879年以降現在までの記事が検索できます。1879～1984年の記事は紙面イメージで、2005年11月以降の記事は切り抜きイメージでの閲覧が可能です。同社発行の週刊誌の記事も収録されていて、『知恵蔵』（7.2参照）や『人物データベース』（7.3.1参照）も検索可能です。



1985年以降の記事は全文、1879～1984年の記事は見出し「朝日新聞縮刷版」から検索が可能。横断的には検索できないので、年代や検索内容によって切り替える。

図表 5-7 『聞蔵Ⅱ』 シンプル検索画面

以下の CD-ROM や冊子体もありますが、現在は『聞蔵Ⅱ ビジュアル for Libraries』で検索可能です。

- 『朝日新聞記事総覧』 1911～1992：本館 RC
- 『CD-HIASK：朝日新聞記事データベース』 1985～2001：本館 RC
- 『戦後50年朝日新聞見出しデータベース』 1945～1995：本館 RC

(2) 読売新聞社

■ 『ヨミダス歴史館』 読売新聞社 学内限定

<<http://tul.library.tohoku.ac.jp/modules/newdb/detail.php?id=182>>

読売新聞のオンライン記事データベースです。1874年以降現在までの記事が検索できます。1874～1989年の記事は紙面イメージで、2008年12月以降の記事は切り抜きイメージでの閲覧が可能です。同社発行の英字新聞『The Daily Yomiuri』の記事や、『imidas』（7.2参照）、英和・和英辞典なども検索可能なほか、検索式や検索結果の記事を保存しておく「マイ検索」「マイ記事」機能も付いています。

以下のCD・DVDもありますが、現在は『ヨミダス歴史館』で検索可能です。

■ 『明治の讀賣新聞』 読売新聞社 1874～1912：本館RC

同様に『大正の讀賣新聞』、『昭和の讀賣新聞：戦前1・戦前2』も所蔵しています。

(3) 日本経済新聞社

■ 『日経テレコン21』 日本経済新聞社 有料（一部無料）：本館RC

代行検索

1876～1958年および1981年10月以降の日本経済新聞全文ほか、日経4紙、全国紙・地方紙を含む多数の新聞を横断検索し、本文入手もできます。（収録年・本文掲載年代、料金はそれぞれ異なります。）日本経済新聞は1958年以前の記事のみ、見出しと本文を無料で検索することができます。

■ 『日経全文記事データベース』 日本経済新聞社 1990～：本館RC

日本経済新聞の記事本文を収録し、1年分が1枚のCD-ROMになっています。ただし、写真や図表などは収録していません。

■ 『日経 goo』 <<http://nikkei.goo.ne.jp/>>

日経4紙過去1年間の本紙印刷版記事が、見出しまでは無料で検索可能です。本文表示は有料です。

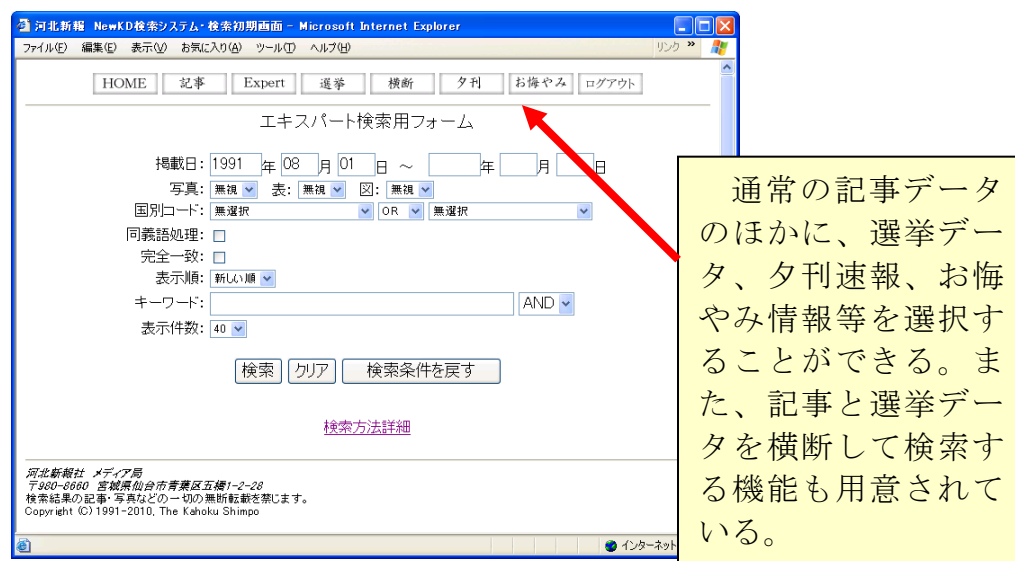
(4) 河北新報社

■ 『KD（カーデー）河北新報データベース』 河北新報社

<<http://tul.library.tohoku.ac.jp/modules/newdb/detail.php?id=37>>

学内限定

1991年8月以降の河北新報掲載記事が検索可能です。そのほか、戦後東北の選挙記録を収録した選挙データベースなども収録されています。



図表 5-8 『KD』 エキスパート検索画面

(5) 各紙のニュース速報サイト

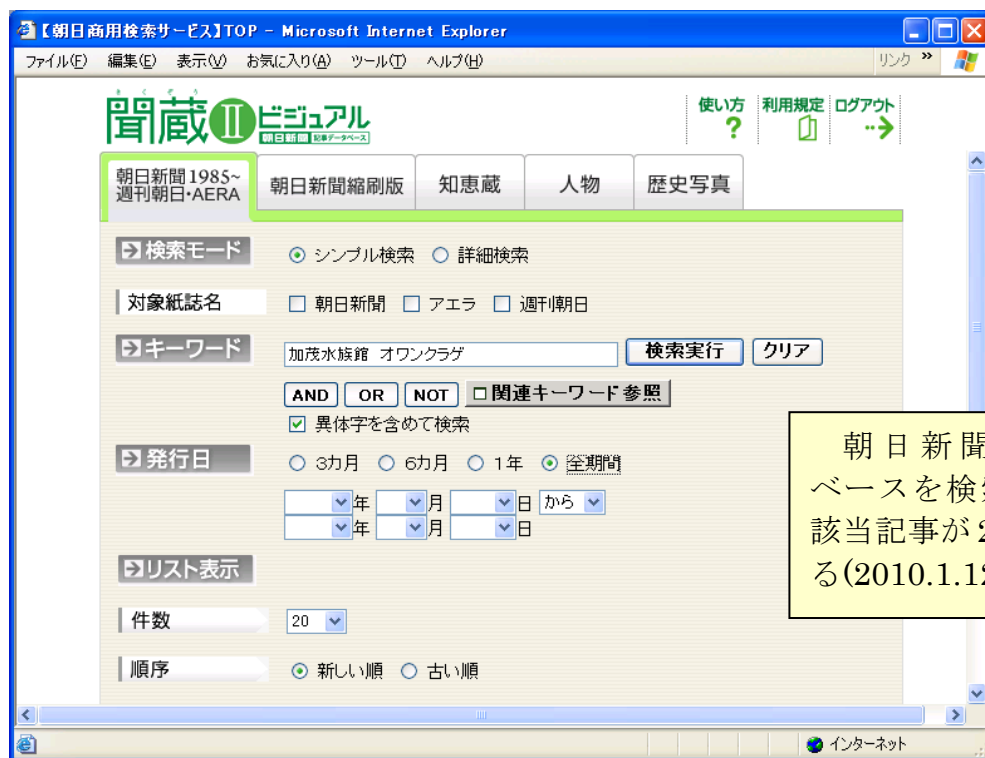
調べたい新聞記事がごく最近のもので、速報性を重視したい場合には、以下のようなニュース速報サイトも便利です。

- 『asahi.com』 朝日新聞社 <<http://www.asahi.com/>>
- 『YOMIURI ONLINE』 読売新聞社 <<http://www.yomiuri.co.jp/>>
- 『毎日 jp』 毎日新聞社 <<http://mainichi.jp/>>
- 『河北新報ニュース KOLNET』 河北新報社 <<http://www.kahoku.co.jp/>>
- 『NIKKEI NET』 日本経済新聞社 <<http://www.nikkei.co.jp/>>
- 『MSN 産経ニュース』 産経新聞社 <<http://sankei.jp.msn.com/>>

例題 2008年、下村脩氏のノーベル化学賞受賞により脚光を浴びた、山形県鶴岡市の加茂水族館で展示されている「オワンクラゲ」に関する報道記事を探す。

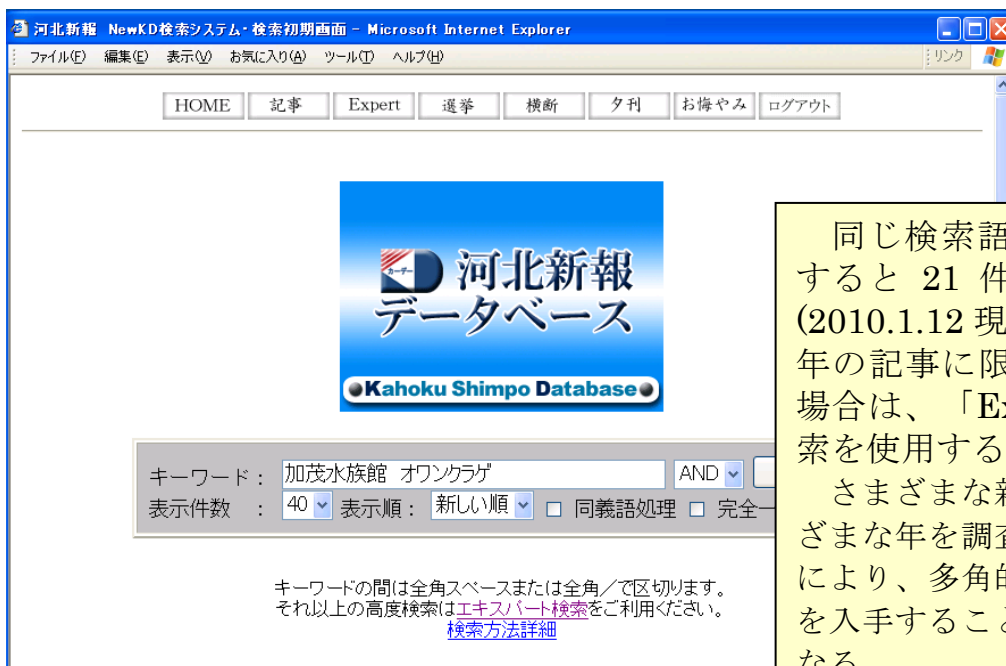
回答例

①



図表 5-9 『KD』 検索画面

②



図表 5-10 『聞蔵 II』 検索画面

5.3.3 海外の新聞を調べる

- 『The Times Digital Archive』 Thomson Gale 1785～1985
<<http://infotrac.galegroup.com/itweb/tohoku/>> 学内限定（検索・閲覧）
<<http://archive.timesonline.co.uk/tol/archive/>> 検索のみ
『The Times』の1785～1985年までの記事がオンライン上で検索、閲覧できます。

- 『New York Times』
<<http://query.nytimes.com/search/advanced/>>
創刊年（1851）から見出し検索が可能で、1851～1922年及び1987年以降の記事は無料で閲覧できます。本館書庫には、本紙マイクロフィルム版（1851～1982、1990）と索引（1851～1982）も所蔵しています。

- 『Washington Post』
<<http://www.washingtonpost.com/wp-adv/archives/>>
1877年以降の記事検索が可能です。本文は有料です。

- 『Wall Street Journal』
<<http://proquest.umi.com/login?COPT=REJTPTYzMSZTTUQ9MiZJTIQ90CZWRVI9Mg==&clientId=85175>> 学内限定
創刊年（1984）から現在までの記事がオンライン上で検索、閲覧できます。

- 『ウォール・ストリート・ジャーナル日本版』
<<http://jp.wsj.com/>>
ウェブ版の『The Wall Street Journal』に掲載される記事の一部を、日本語で提供しています。本文は有料のものと無料のものがあります。

- 『Google News』
<<http://news.google.com/news?ned=us>>
インターネット検索サイトとしても有名な Google が、世界中約 4,500 以上の新聞やテレビ等ニュースサイトから自動収集し、独自の分類と重み付けをした英文記事を提供しています。国ごとに異なるサイトがあります。

5.4 新聞の所蔵検索

新聞の所蔵を探す手順は、基本的に3章の図書・雑誌の探し方と同様です。まず、学内外のオンライン目録で探してください。新聞の場合は、オンライン目録で所蔵を確認できない場合が多いので、冊子体ツールなどでの調査も必要です。

また、最新の新聞本紙の所蔵については、図書館カウンターにお尋ねください。

- 『全国新聞総合目録データベース』 国立国会図書館
 <<http://sinbun.ndl.go.jp/>>
 国内の公共図書館、大学図書館、地方公共団体などの所蔵を確認できます。マイクロフィッシュや縮刷版、復刻版、電子資料まで収録しています。同様の冊子体ツールである『全国複製新聞所蔵一覧』は、本館 RC で所蔵しています。
- 『東北地区大学図書館所蔵新聞目録』 第2版
 東北地区大学図書館協議会編 1987：本館 RC
- 『明治新聞雑誌文庫所蔵新聞目録』 東京大学法学部明治新聞雑誌文庫編
 東京大学出版会 1977：本館 RC [UP15/24]・本館書庫 [UP15/024]ほか

例題 昭和31年の「河北新報」所蔵館を探す。

回答例

No.	所蔵機関	形式	所蔵年
1	0005 青森県立図書館	P	昭61.1~平5.9
2	0752 河北新報社	N	明30.4~昭19.12,昭28.9~昭
3	0752 河北新報社	P	明30.1~昭62.6
4	1303 東北学院大学中央図書館	P	明30.1~昭36.12
5	0433 東北大学附属図書館	P?	昭31.1~平9.12
6	0435 宮城教育大学附属図書館	P	大15.11~昭61.12
7	0753 宮城県議会事務局調査課	N	昭26.1~昭58.12
8	0007 宮城県図書館	MN	明30.1~平7.6

『Online Catalog』で検索しても該当年のものはヒットしない。しかし、『全国新聞総合目録データベース』で調べると、マイクロフィルムを東北大でも所蔵していることがわかる。

図表 5-11 『全国新聞総合目録データベース』検索結果

参考までに本分館 2010 年の本紙所蔵状況を下表にまとめました。保存期間は各館により異なりますが、おおよそ半年から 1 年程度です。

専門紙などは各研究科等で購入している場合もありますので、図書館カウンターに探索法を問い合わせてください。

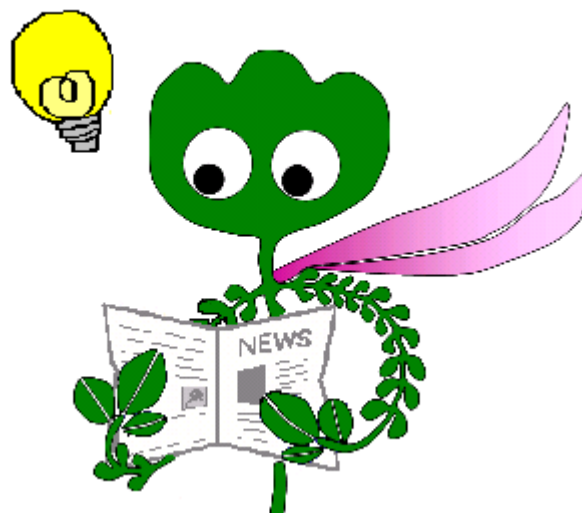
タイトル	本館	医学分館	北青葉山分館	工学分館	農学分館
朝日新聞	○	○	○	○	○
科学新聞			○		○
河北新報	○	○	○	○	○
産経新聞	○				
スポーツニッポン				○	
スポーツ報知	○				
日刊スポーツ	○		○		
日刊工業新聞	○			○	
日経産業新聞	○				
日本経済新聞	○	○	○	○	○
日本農業新聞					○
Fuji Sankei Business i				○	
毎日新聞	○	○	○	○	○
読売新聞	○	○	○	○	○
BOLA	○				
China Daily	○				
International Herald Tribune	○		○		
KOMPAS	○				
The Japan Times	○	○		○	○
韓国日報				○	
人民日報				○	
朝鮮日報	○				

図表 5-12 本紙の所蔵状況一覧

5.5 新聞の出版情報

新聞にはさまざまな種類があるということを、ここまで説明してきました。ここでは、どのような新聞が出版されているのか調べるツールを紹介します。

- 『雑誌新聞総かたろぐ』 メディア・リサーチ・センター
1979～：本館 RC ほか
22,000 点以上の国内雑誌・新聞などを収録しており、タイトル、分野、発行所などの索引があります。毎年最新版が発行されています。
- 『日本新聞雑誌便覧』 日本新聞雑誌調査会 1966～2001：本館 RC ほか
新聞雑誌関係の出版社などを分野ごとに関し、各社ごとのタイトル説明などを掲載しています。
- 『Pressnet 社団法人日本新聞協会』 社団法人日本新聞協会
<<http://www.pressnet.or.jp/>>
「メディアリンク」では、日本新聞協会に加盟する日本全国の新聞社・通信社、および関係諸団体などへのリンク集がまとめられています。
- 『Ulrich's Periodicals Directory』 Bowker：本館 RC・医分・工分ほか
世界各国の雑誌・新聞などを収録しており、タイトル、分野、出版者などの索引があります。



演習問題

5-1 東北大学で名誉博士号を取得した田中耕一氏について、朝日新聞に掲載された授与式後の写真と新聞記事を探す。

(『聞蔵Ⅱ』を使う)

ヒント：データベースだけでは写真は探し出せない場合が多い。複数のツールを利用する。

5-2 「平成の大合併」で2006年3月31日に誕生した宮城県内の2市の記事を探し、新市名と合併した市町名を調べる。

(『KD』を使う)

ヒント：検索結果をもとに、絞り込んでみる。

5-3 「Wikipedia (ウィキペディア)」に関する記事にこういったものがあるか調べる。

(『聞蔵Ⅱ』と『KD』でヒット件数を比べてみる)

ヒント：検索語に注意。

5-4 明治30年の『河北新報』所蔵館を調べる。

(『Online Catalog』『全国新聞総合目録データベース』を使う)

ヒント：ツールによっては所蔵確認できない場合もある。

解答と解説は、付録8にあります。